

2012年3月期 本決算説明会資料



2012年5月16日

I. 決算概況

- ・ ハイライト(P.2)
- ・ 連結損益計算書サマリー(前年同期比)(P.3)
- ・ 当期の四半期毎の連結売上高・利益の推移(P.4)
- ・ (参考)四半期毎の連結売上高・営業利益の推移(P.5)
- ・ セグメント別の業績情報一覧(P.6)
- ・ セグメント別の業績構成比(前年同期比)(P.7)
- ・ 連結売上高の増減内訳(セグメント毎の前年同期比)(P.8)
- ・ 連結営業利益の増減内訳(セグメント毎の前年同期比)(P.9)
- ・ セグメント毎の業績情報①与信管理サービス等(P.10)
- ・ セグメント毎の業績情報②ビジネスポータルサイト(P.11)
- ・ セグメント毎の業績情報③BPOサービス(P.12)
- ・ セグメント毎の業績情報④その他サービス(P.13)
- ・ リスクモンスターグループ法人会員数の推移(P.14)
- ・ 連結貸借対照表(前期末比)(P.15)
- ・ 連結キャッシュ・フロー(前年同期比)(P.16)
- ・ 2013年3月期連結業績予想(P.17)

II. 当期の主な取り組み

- ・ 第1四半期・第2四半期の主な取り組み(P.18)
- ・ 第3四半期・第4四半期の主な取り組み(P.19)
- ・ 代表取締役の役職変更(2012年3月発表)(P.20)
- ・ 組織新設及び人事異動(2012年3月発表)(P.21)

III. 経営目標

- ・ 企業理念・行動基準・長期ビジョン(P.22)
- ・ 第3次中期経営計画(全体的な基本方針)(P.23)
- ・ 第3次中期経営計画(事業別の基本方針)(P.24)
- ・ リスモングループの事業戦略図(P.25)

IV. その他

- ・ リスモングループの各社情報(P.26)
- ・ リスモングループの沿革(P.27)
- ・ 大株主の状況(P.28)
- ・ 当社株式の大量買付けに関する規則(買収防衛策)の継続(P.29)
- ・ コーポレート・ガバナンス体制(P.30)
- ・ 外部規格等(P.31)
- ・ 事業内容の補足説明①与信管理サービス(P.32)
- ・ トピック:クラウドサービス稼働開始(P.33)
- ・ トピック:スマートフォン版登場(P.34)
- ・ 新刊『与信管理論』出版(P.35)
- ・ 事業内容の補足説明②ビジネスポータルサイト(P.36)
- ・ トピック:スマートフォン版が登場(P.37)
- ・ 事業内容の補足説明③BPOサービス(P.38)
- ・ トピック:中国海南センター開設3周年(P.39)
- ・ 事業内容の補足説明④その他サービス(P.40)
- ・ トピック:サイバックスUniv.(P.41)
- ・ 東日本大震災復興支援活動等(P.42)
- ・ CSR活動(P.43)

企業概要(P.44)

IRに関するお問合せ(P.45)

ご注意 本資料に記載された見解、見通し並びに予測等は、資料作成時点の弊社の判断であります。その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因等により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。

ハイライト

- 売上高**
 主力の与信管理サービスが低迷するも、BPOサービス(注1)、ビジネスポータルサイト(注2)の売上高が堅調に推移し、増収となる。
- 利益**
 東日本大震災や長引く景気低迷の影響、連結子会社のリストラ費用の計上により減益となる。
- 株主還元**
 2期連続の増配へ。

	11年3月期	12年3月期	13年3月期
1株当たり配当金	500円 (初配当・実績)	750円 (予定)	800円 (予定)
配当性向	15.7%	24.9%	26.0%

(注1)ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)サービス。

(注2)インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員向けサービス及びホスティングサービス等を含むその他サービス。

連結損益計算書サマリー(前年同期比)

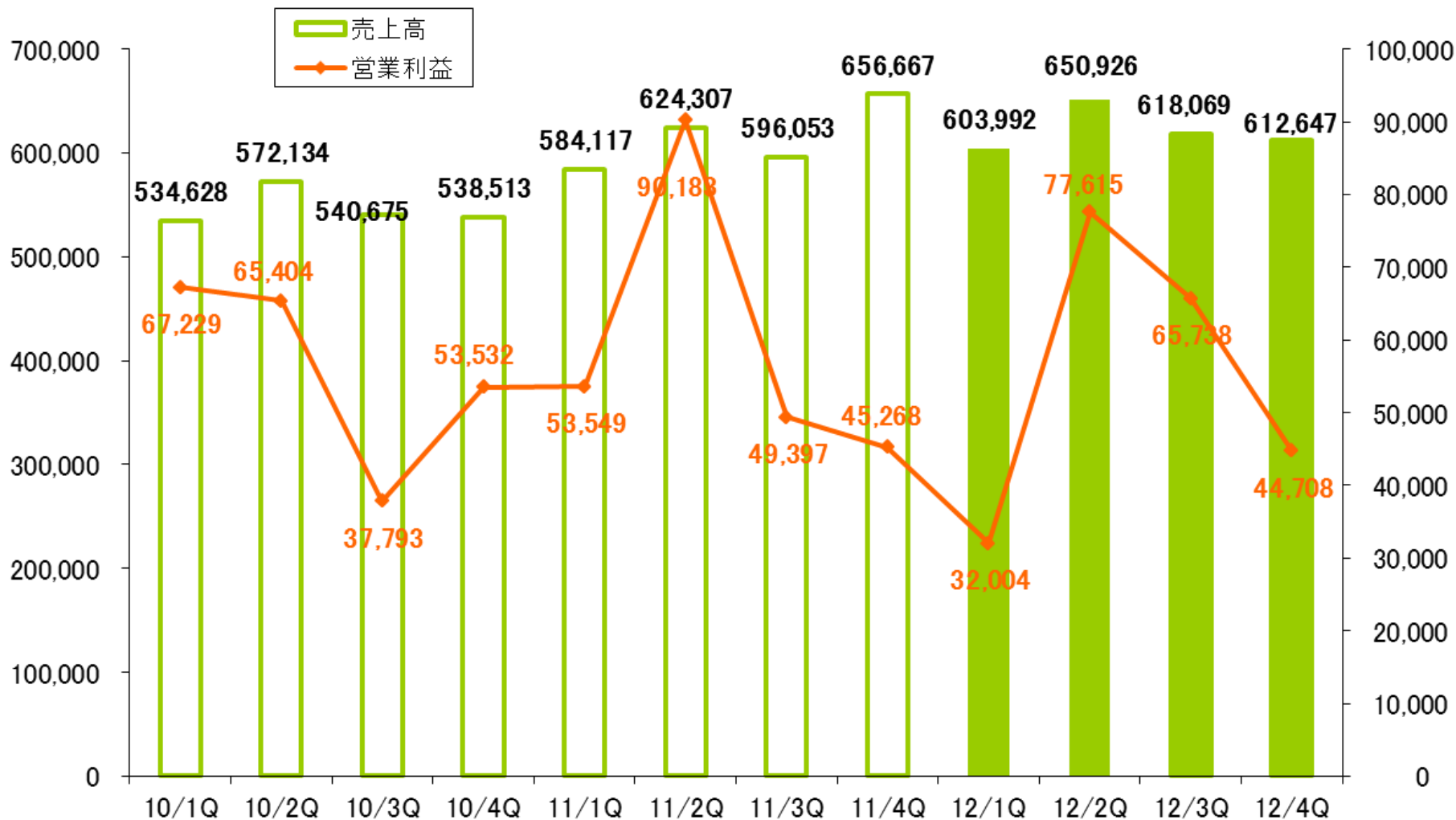
	11年3月期	12年3月期	前年同期比
売上高	2,461	2,485	101.0 %
営業利益	238	220	92.3 %
経常利益	240	218	91.0 %
当期純利益	124	117	94.7 %
EPS(1株当たり 当期純利益)	3,186円29銭	3,015円90銭	—

当期の四半期毎の連結売上高・利益の推移

	12年3月期 1Q	12年3月期 2Q	12年3月期 3Q	12年3月期 4Q
売上高	603,992	650,926	618,069	612,647
営業利益	32,004	77,615	65,738	44,708
(営業利益率)	(5.3 %)	(11.9 %)	(10.6%)	(7.3 %)
経常利益	34,156	76,840	65,895	41,557
四半期 純利益	24,743	37,632	36,971	18,178

- 第1四半期に行った連結子会社のリストラクチャリング及びグループの本社機能を集約したことに伴いコストが削減されたこと、またグループ内での業務の共通化を進めたこと等から、第2四半期以降は収益構造が改善。第2、第3四半期は営業利益率が2桁を超える。
- 第4四半期は、本社の増床に伴う一過性のコスト計上等により、営業利益率が一時的に落ち込み、2桁を割り込む。

(参考) 四半期毎の連結売上高・営業利益の推移



セグメント別の業績情報一覧

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	与信管理 サービス等	ビジネス ポータルサイト (グループウェ アサービス等)	BPOサービス	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,453,000	515,003	365,785	2,333,790	151,845	2,485,635	-	2,485,635
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	606	292	69,464	70,362	4,589	74,952	△ 74,952	-
計	1,453,606	515,296	435,250	2,404,153	156,434	2,560,588	△ 74,952	2,485,635
構成比	58.5%	20.7%	17.5%	96.7%	6.3%	103.0%	-	100.0%
セグメント利益 又は損失(△)	124,447	116,593	△ 3,750	237,290	△ 17,300	219,990	75	220,066
構成比	56.5%	53.0%	-	107.8%	-	100.0%	0.0%	100.0%

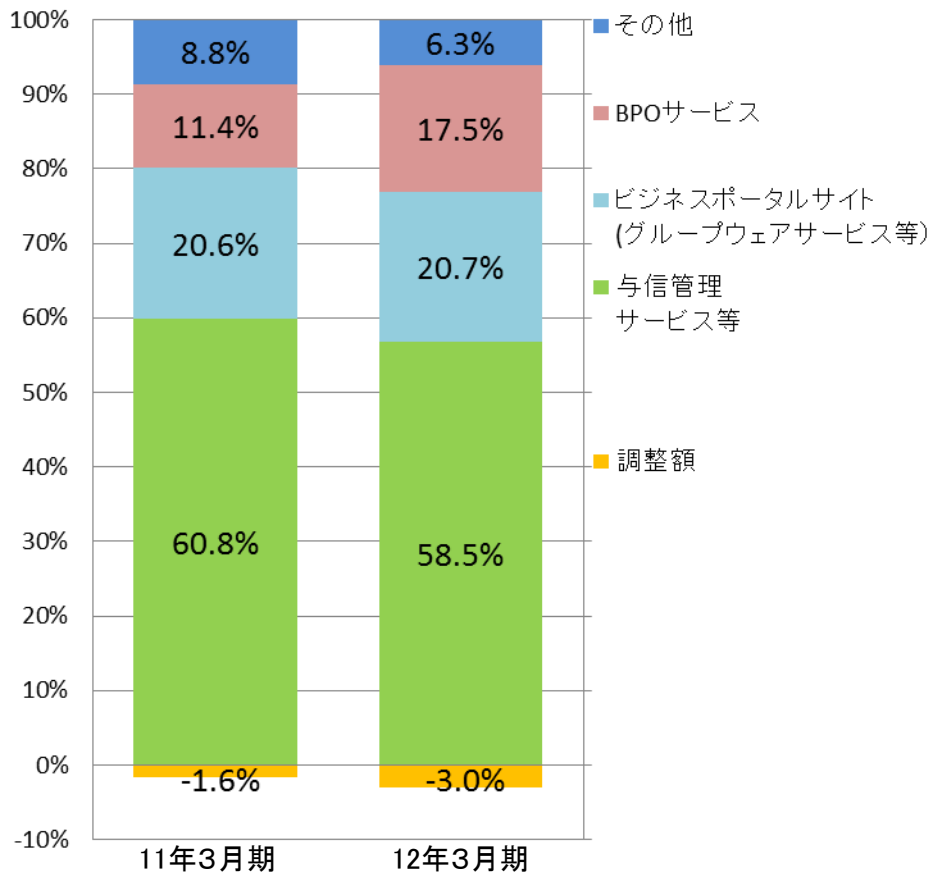
(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育関連事業を含んでおります。

(注2)セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

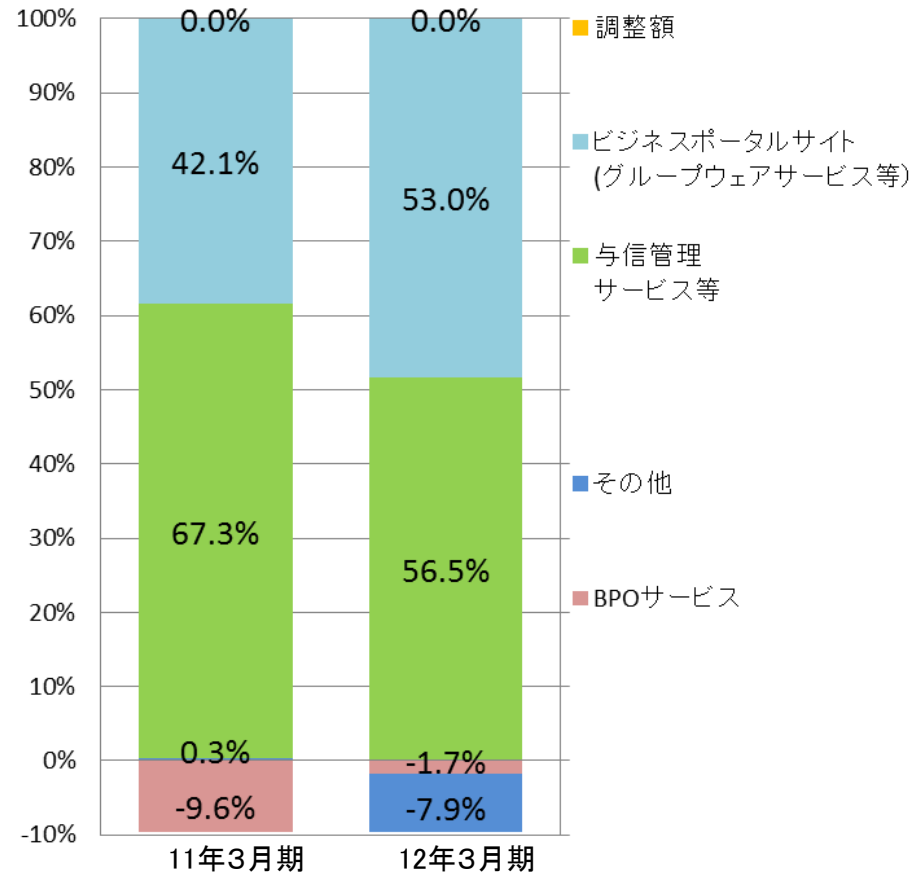
(注3)セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

セグメント別の業績構成比(前年同期比)

■売上高

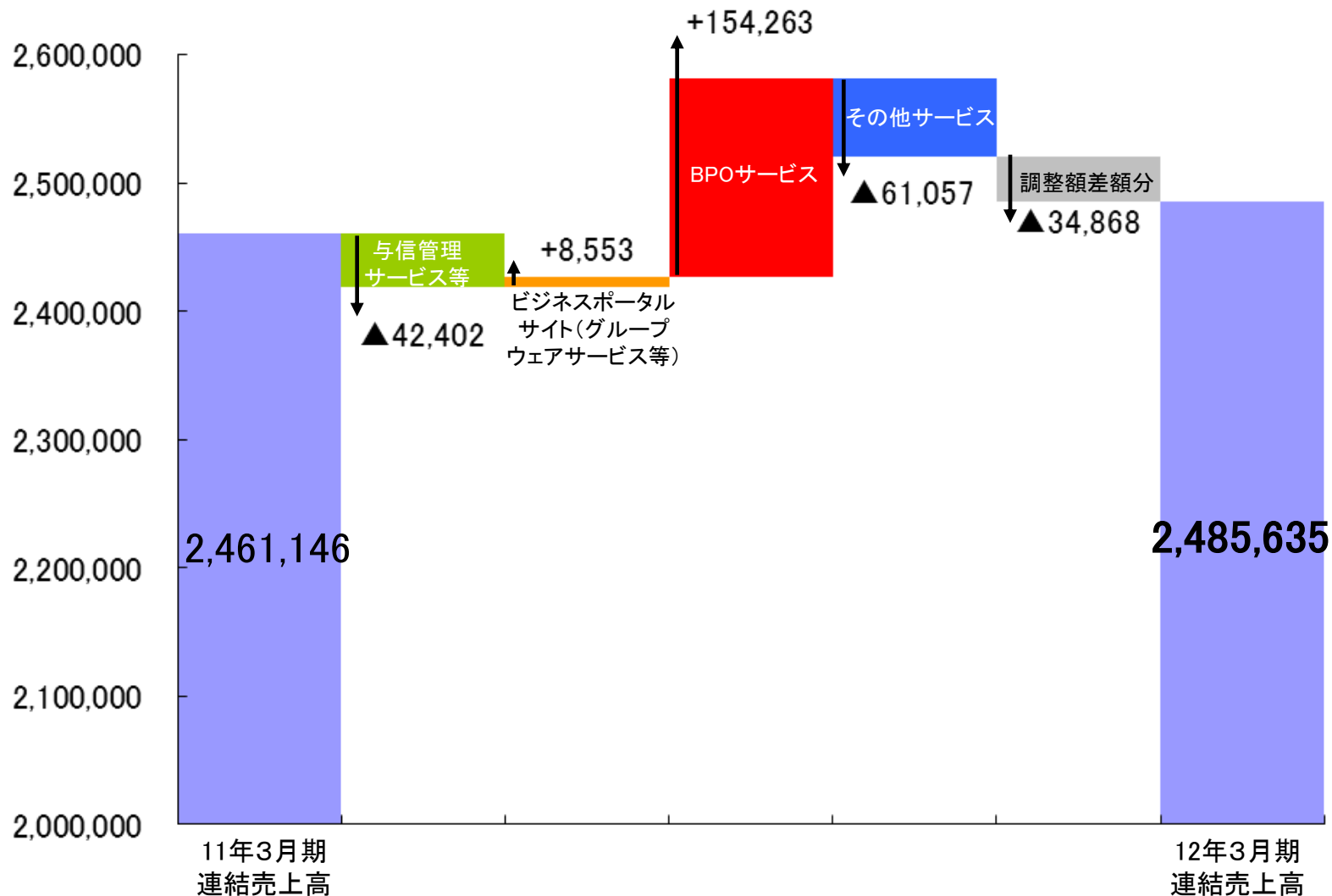


■セグメント利益又は損失



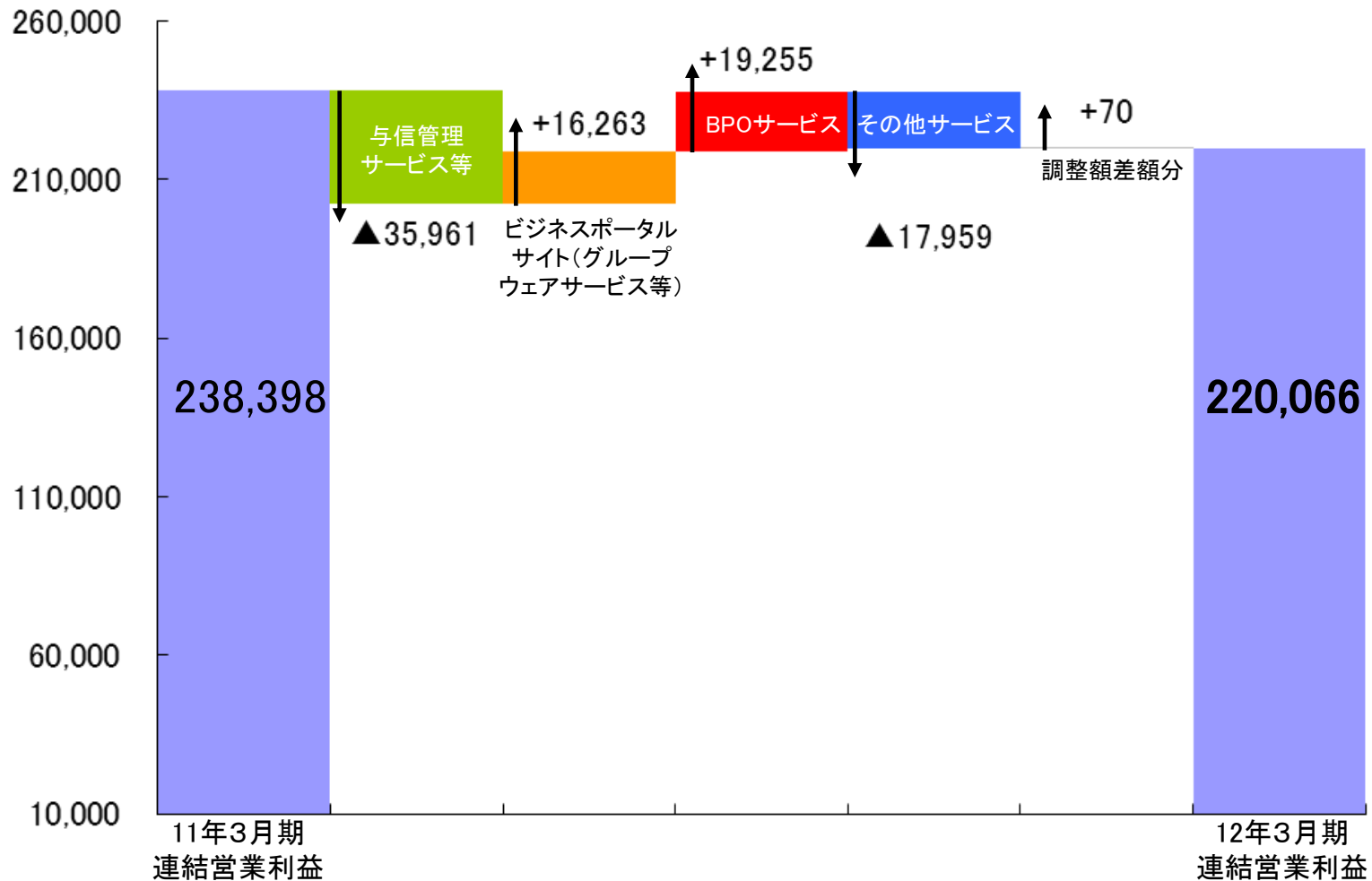
- BPOサービスの売上高が、平成23年1月に連結子会社リスモン・マッスル・データ株式会社が日本アウトソース株式会社の全株式を取得したこと等により伸び、売上構成比で+6.1%の17.5%と存在感を増す。
- 収益構成比はビジネスポータルサイトが+10.9%と伸び、与信管理サービス等に依存していた収益構造が改善。また、BPOサービスは不採算案件から撤退したこと等に伴いマイナス幅が大幅に減少。

連結売上高の増減内訳(セグメント毎の前年同期比)



(注) 各セグメント毎の増減額は、各セグメント毎の12年3月期通期売上高から11年3月期通期売上高を差し引いた金額です。尚、計算の基礎となる各セグメント毎の売上高はセグメント間取引消去前の売上高を使用しています。また、調整額差額分は12年3月期通期のセグメント間の内部売上高または振替高の合計金額から11年3月期通期の同合計金額を差し引いて計算したものです。

連結営業利益の増減内訳(セグメント毎の前年同期比)

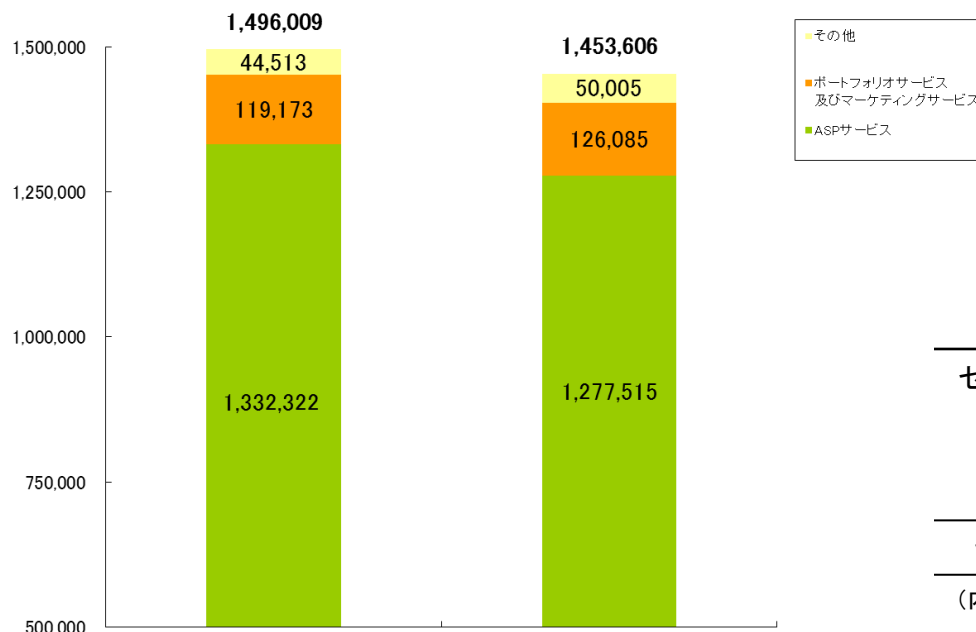


(注) 各セグメント毎の増減額は、各セグメント毎の12年3月期通期営業利益から11年3月期通期営業利益を差し引いた金額です。尚、計算の基礎となる各セグメント毎の営業利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。また、調整額差額分は前述の調整金額の12年3月期通期の金額と11年3月期通期の金額の差額分となります。



リスクモンスター(株)

セグメント毎の業績情報①与信管理サービス等



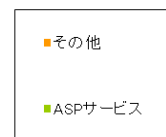
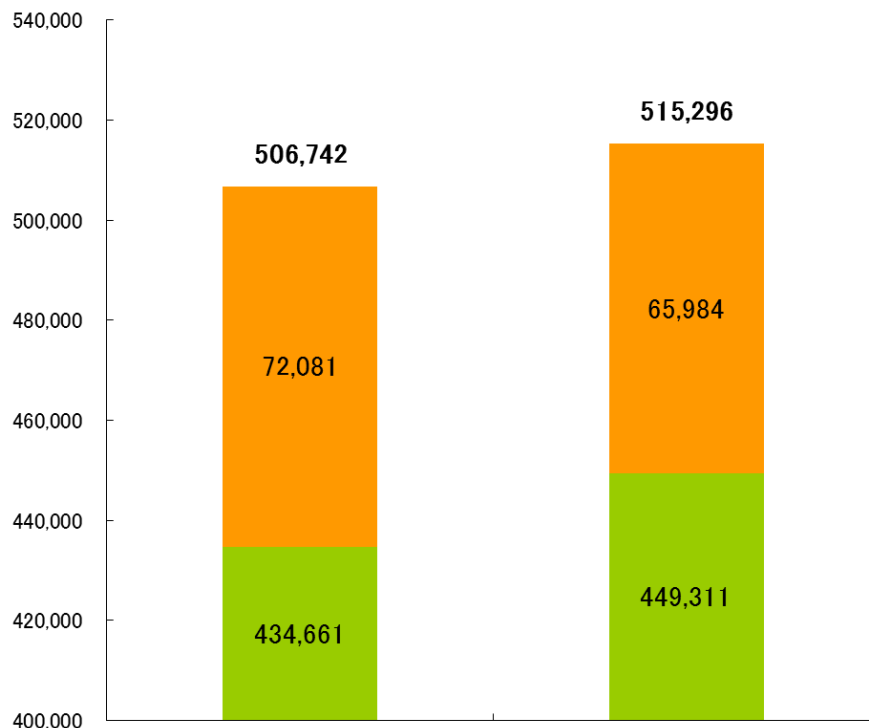
	11年3月期	12年3月期	前年同期比
セグメント利益 又は損失	160,408	124,447	77.6%
会員数 (ID)	10年3月末 3,043	11年3月末 3,488	12年3月末 4,400
(内、提携会員数)	(一)	(599)	(1,404)

	11年3月期売上高	12年3月期売上高	前年同期比
ASPサービス	1,332,322	1,277,515	95.9%
ポートフォリオサービス及び マーケティングサービス	119,173	126,085	105.8%
その他	44,513	50,005	112.3%
合計	1,496,009	1,453,606	97.2%

(注1)セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引
消去前の売上高で記載しております。
(注2)セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益
と調整を行っております。

・ 会員数は増加し、コンサルティングサービスの売上高が好調だったものの、長引く景気低迷による経費削減対策の影響を受け利用件数が落込んだこと等により、主力のASPサービスの売上高が低調で、与信管理サービス等全体の売上高、セグメント利益ともに前年同期を下回る。

セグメント毎の業績情報②ビジネスポータルサイト



リスマン・ビジネス・ポータル(株)

	11年3月期	12年3月期	前年同期比
セグメント利益 又は損失	100,330	116,593	116.2 %

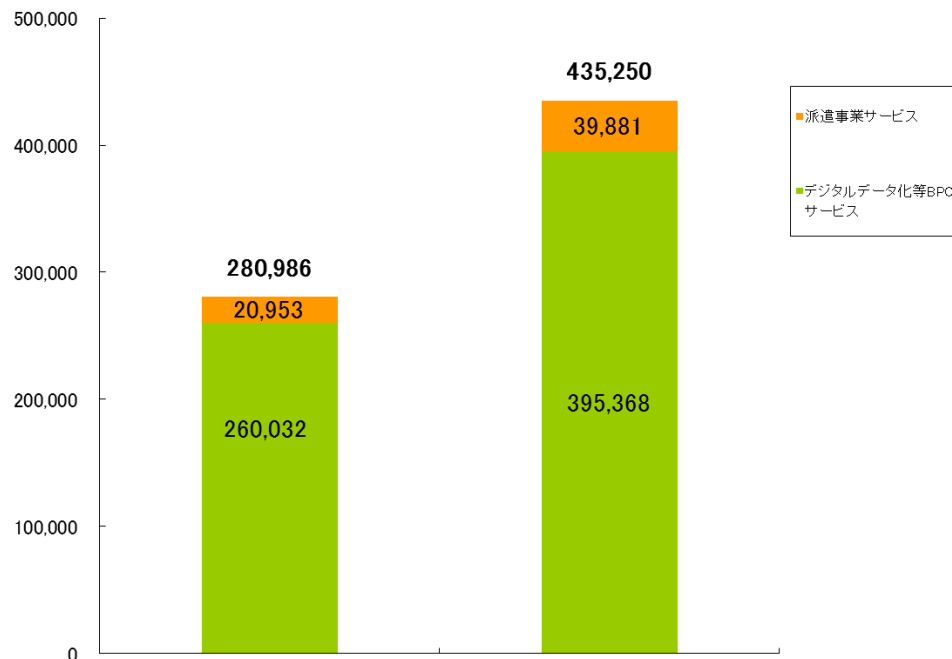
	10年3月末	11年3月末	12年3月末
会員数(ID)	4,214	3,955	3,788
ユーザー数	128,927	131,085	130,215

	11年3月期売上高	12年3月期売上高	前年同期比
ASPサービス	434,661	449,311	103.4 %
その他	72,081	65,984	91.5 %
合計	506,742	515,296	101.7 %

(注1)セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。
 (注2)セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- ・ 会員数は減少しているものの、ディスク容量の利用が堅調に推移したことに伴い、売上高及びセグメント利益は前年同期を上回る。

セグメント毎の業績情報③BPOサービス



リスモン・マッスル・データ(株)
日本アウトソース(株)

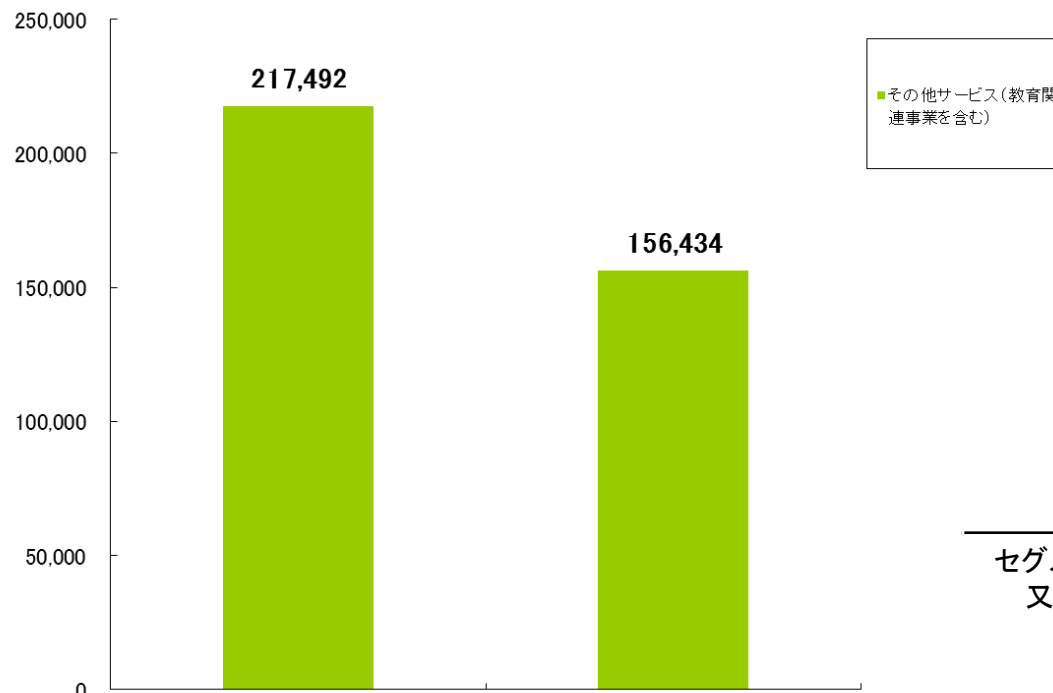
	11年3月期	12年3月期	前年同期比
セグメント利益 又は損失	▲23,005	▲3,750	—

	11年3月期売上高	12年3月期売上高	前年同期比
デジタルデータ化等BPOサービス	260,032	395,368	152.0 %
派遣事業サービス	20,953	39,881	190.3 %
合計	280,986	435,250	154.9 %

(注1)セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引
消去前の売上高で記載しております。
(注2)セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益
と調整を行っております。

- 売上高は、11年1月に連結子会社リスモン・マッスル・データ株式会社が日本アウトソース株式会社の全株式を取得したこと等により前年同期を大きく上回る。
- セグメント利益については、グループのコストセンター部門の費用を負担しているものの、不採算案件から撤退したこと等に伴い、収益構造が大幅に改善。

セグメント毎の業績情報④その他サービス



サイバックス(株)

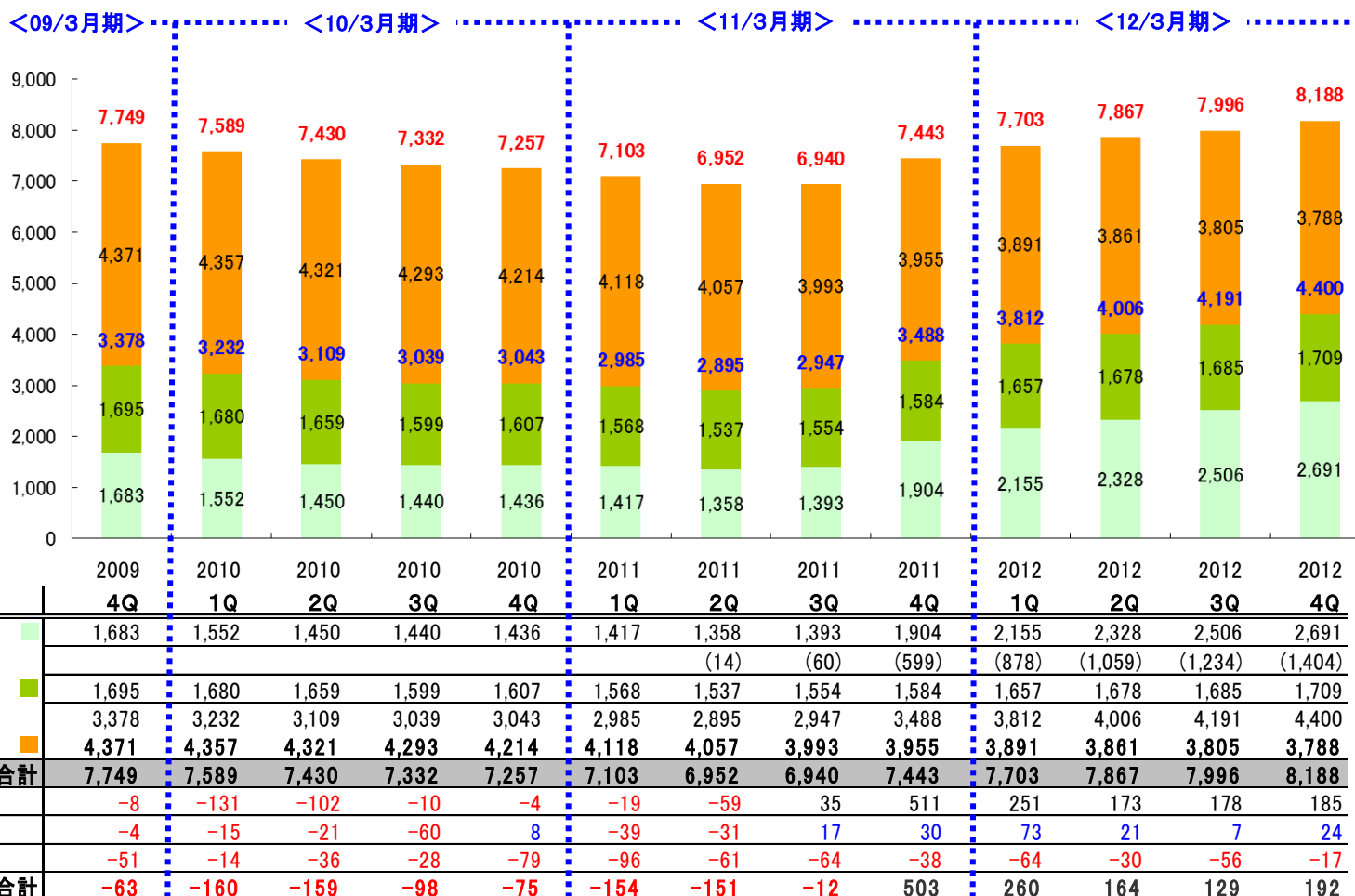
	11年3月期	12年3月期	前年同期比
セグメント利益 又は損失	659	▲17,300	—

	11年3月期売上高	12年3月期売上高	前年同期比
その他サービス (教育関連事業を含む)	217,492	156,434	71.9%

(注1)セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引
消去前の売上高で記載しております。
(注2)セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益
と調整を行っております。

- 教育関連事業を行う連結子会社サイバックス株式会社は、引き続き景気低迷の影響を受け厳しい状況にあるものの、第1四半期に実施したコスト削減施策の効果や、グループ内での業務フローの共通化が図られたこと等から第2四半期以降収益構造が改善。
- 第1四半期の東日本大震災の影響とリストラクチャリングに伴う一時的な費用負担に伴う損失を吸収できず、累計ではセグメント損失となる。

リスクモンスターグループ法人会員数の推移



(*1) インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員。
 (*2) 会員数は当社に登録されているID数です。なお、与信管理サービス等及びビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)に重複登録している会員が一部あります。

• **業務提携の推進等の営業施策によって、与信管理サービス等のライト会員、レギュラー会員が増加に転じ、全体の会員数も伸びる。**

連結貸借対照表(前期末比)

	11年3月期末	12年3月期末	増減額	主な増減要因
流動資産	2,544,572	2,531,255	▲13,317	・売掛金の減少▲40,905。 ・日本電子記録債権研究所の新株予約権付社債引受等に伴う有価証券の増加+49,950。
固定資産	1,202,811	1,128,955	▲73,855	・有形固定資産の減少▲13,106。 ・無形固定資産の減少▲58,434。 ・投資有価証券の減少▲10,834。
資産合計	3,747,383	3,660,210	▲87,173	—
流動負債	452,185	336,234	▲115,950	・未払金の減少▲42,014。 ・未払法人税等の減少▲47,592。
固定負債	73,497	18,183	▲55,314	・子会社の長期借入金の返済等に伴う減少▲62,849。
負債合計	525,682	354,418	▲171,264	—
純資産合計	3,221,701	3,305,792	+84,091	・当期純利益の計上等による利益剰余金の増加+98,042。
自己資本比率	84.8%	89.4%	+4.6ポイント	—

連結キャッシュ・フロー(前年同期比)

	11年3月期末	12年3月期末	増減額	主な増減要因
営業キャッシュ・フロー	544,393	408,792	▲135,601	・法人税の支払額の増加▲119,189。
投資キャッシュ・フロー	▲201,304	▲306,590	▲105,286	・定期預金の払戻による収入の減少▲99,455。
財務キャッシュ・フロー	▲59,994	▲110,297	▲50,303	・子会社の長期借入金の返済等による支出の増加▲31,050。 ・配当金の支払による支出の増加▲19,196。
現金同等物増減額	283,093	▲8,096	▲291,190	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,739,347	2,022,441	+283,093	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,022,441	2,014,344	▲8,096	—

2013年3月期連結業績予想

	12年3月期 2Q累計(実績)	13年3月期 2Q累計(計画)	前年 同期比	12年3月期 通期(実績)	13年3月期 通期(計画)	前年 同期比
売上高	1,254	1,270	101.2 %	2,485	2,580	103.8 %
営業利益	109	105	95.8 %	220	225	102.2 %
経常利益	110	105	94.6 %	218	225	103.0 %
四半期(当期) 純利益	62	58	93.0 %	117	120	102.1 %
EPS(1株当たり 当期純利益)	1,600円66銭	1,488円36銭	—	3,015円90銭	3,079円37銭	—
1株当たり配当金 (円)	—	—	—	750円00銭	800円00銭	—

〈今期の方針〉

■営業面・サービス面

景気の先行きは、引き続き予断を許さない状況が続くことが予想されるものの、既存サービスへの追加投資を行い顧客満足度を高め、サービスの浸透度を深める施策を実行し、また、組織機構の改革を実施することでグループの相乗効果を高め、売上高の増加を目指す。

■費用

引き続きグループ内で業務フローの共通化を進め、少数精鋭による低コストオペレーションを維持し、収益獲得体制を更に強化。

第1四半期・第2四半期の主な取り組み

- 「第3次中期経営計画(2011～2013年度)」をスタート。(4月)
- 東日本大震災における被災地復興支援プログラム「リスモン義援金」を実施。(4月)
- eラーニングを中心とした企業の人材開発、育成支援サービスの拡大を目的に教育事業部を新設。(4月)
- 設立10周年記念配当として1株当たり500円の初配当を実施。(6月)
- 市場調査、マーケティング支援事業を拡大することを目的に、「第1回PRキャラクターブランド調査」報告書を発表。(6月)
- 連結子会社サイバックス株式会社を移転し、グループの本社機能を大手町に集約。(7月)
- 与信管理サービス「e-与信ナビ」リニューアル。(7月)
- 集合研修とeラーニングを組み合わせ、定額制でリーズナブルな「ラーニングモンスター研修パック」を提供開始。(8月)
- 事業継続計画に基づく障害復旧訓練を実施。(8月)

第3四半期・第4四半期の主な取り組み

- 企業活動調査第二弾「この企業に勤める人と結婚したいアンケート調査」報告書を発表。(10月)
- クラウドコンピューティングEXPOに出展。(10月)
- 東京ビジネス・サミットin神戸に出展。(12月)
- 株式会社日本電子記録債権研究所の新株予約権付社債の引受け。(12月)
- 連結子会社サイバックス株式会社が定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」を提供開始。(3月)
- カスタマイズ可能な与信管理クラウドサービスを提供開始。(3月)
- グループ3社が品質マネジメントシステム「ISO9001:2008」認証取得。(3月)

代表取締役の役職変更(2012年3月発表)

代表取締役の役職変更(2012年4月1日付)

(1) 変更の理由

経営管理体制の一層の強化を図り、より機動的かつ効率的な意思決定と事業運営を行うことで、経営環境の変化に迅速に対応し、当社グループの更なる発展と企業価値の向上を目指す。

(2) 変更の内容

新役職名	氏名	旧役職名
代表取締役会長 兼 CEO	菅野 健一	代表取締役CEO
代表取締役社長 兼 COO	藤本 太一	代表取締役COO 兼 CFO

組織新設及び人事異動(2012年3月発表)

1. 組織新設及び人事異動(2012年4月1日付)

(1) 異動の理由

各部隊の責任と権限を明確にすることで業務執行の効率化を図り、「第3次中期経営計画(2011～2013年度)」の実現に向け、計画の実行度をさらに高めていくためのもの。

(2) 組織新設

- ① 営業戦略機能の一元化により営業活動をさらに強化するため、与信管理サービス営業部、大阪営業部及び教育事業部を統括する営業本部を新設。
- ② サービスの品質向上、既存会員との関係強化を有機的に融合し、一層専門的かつきめ細やかなサービスを提供するために、カスタマーセンター及びデータ工場を統括する役割としてサービス・コンテンツ統括職を設置。
- ③ グループ全体のサービスシステムの共通化、開発の効率化を図ることを目的に、グループの開発部隊を統括する役割として開発グループ統括部長職を設置。

(3) 人事異動

新役職名	氏名	旧役職名
営業本部本部長	青井 貴之	与信管理サービス営業部統括部長
データ工場工場長 兼 サービス・コンテンツ統括	三木 真志	データ工場工場長
開発グループ統括部長 兼 開発ソリューション部部長	奥山 昌幸	開発ソリューション部部長
与信管理サービス営業部部長	小澤 秀孝	与信管理サービス営業部部長補佐 兼 営業推進課課長

2. 連結子会社(リスモン・ビジネス・ポータル株式会社)の役員の変動(2012年4月1日付)

新役職名	氏名	備考
取締役(新任)	井上 直樹	ファクトリーネットワークアジア(香港) 董事長 ファクトリーネットワークチャイナ(中国上海) 董事長 ファクトリーネットワークトレーディング上海(中国上海) 董事長 株式会社インフォブリッジマーケティング&プロモーションズ代表取締役副社長

企業理念

1. 顧客を大切にして共に繁栄しよう。
2. プロフェッショナルリズムを繁栄の源泉にしよう。

行動基準

1. 挑戦なくして成長あらず
2. 和して同せず
3. 着眼大局、着手小局
4. 備えよ 常に

長期ビジョン

1. ホワイトカラーの高齢化、空洞化への対応の中で、お客様が競争力を発揮できるようなサービスを提供し、頼られる企業を目指す。
2. 既存事業の収益を安定成長させながら、安定的な事業規模を目指す。
3. 海外事業、海外ネットワークを展開する。
4. 継続的な利益を確保すると同時に安定配当の基盤をつくる。

第3次中期経営計画(全体的な基本方針)

規模・株式市場

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大しながら、二部上場基準規模を目指す。

財務 キャッシュ・フロー 方針

既存事業の安定成長基盤投資⇒営業キャッシュ・フロー内での運用。

事業ごとの配分⇒経営・事業環境を勘案し柔軟に配分。

新規事業投資⇒投資目標金額を設定し、積極的に投資する。

資本業務 提携方針

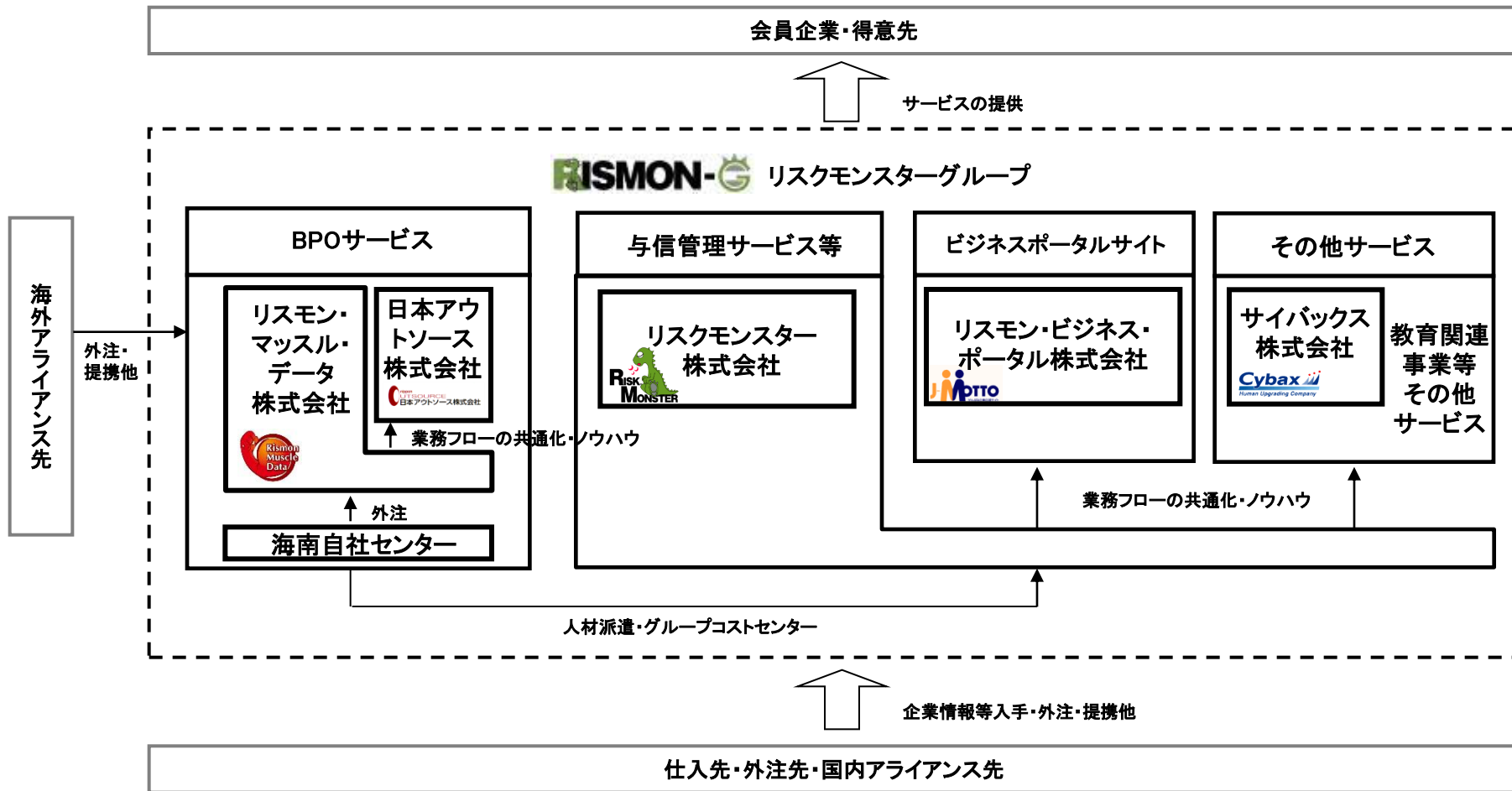
シナジー効果があり、プロフェッショナルなノウハウと顧客基盤を持つ企業を対象とし、長期的なビジネスパートナーとしての関係を築くことを目的とする。また、将来、継続的な利益が出るもの、目標としている内部収益率(IRR)が見込めるものとする。

配 当






配当性向20%以上を目安に安定的な配当を目指す。

第3次中期経営計画(事業別の基本方針)

	方針	狙い
与信管理 サービス事業 	BPO事業での業務請負運営ノウハウ及びASPシステムの管理運営ノウハウを総合	会社設立来標榜する「あなたの会社のe-審査部」(与信管理アウトソーシング事業)への足がかりとする
	収益性の安定成長を最優先課題とし、独自データベースの構築やソフトウェア投資水準の適正化により固定費を圧縮	限界利益率の向上を図る
ビジネスポータル 事業 	事業の核であるグループウェアは広く一般的に利用されているソフトウェア及びハードウェアとの連携を強化	安定成長を目指す
	ポータル事業としての深化と強化を実現	サービスの浸透度を深める
BPO事業  	業務請負サービスでのシナジーの追求	
	国内外センターのそれぞれの役割を明確にし、グループ連携と採算管理を徹底	グループ全体のコスト削減に貢献
その他事業 	教育関連事業では、教育事業部を新設することにより、資格事業、研修事業及びeラーニング事業を集約	戦略的取り組みとして実施
	新規開発投資の再開及び事業の挺入れ	継続的に利益が出る事業基盤づくりに注力



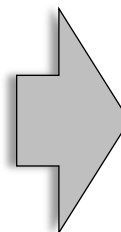


社名	資本金 (百万円)	サービス分野別	議決権の 所有割合	グループ内の役割	強み / 特長
(上場企業) リスクモンスター(株) 	1,107	与信管理サービス等 (与信管理ASPサービス事業 及び関連コンサルティング事業)	—	法人向けビジネスを行う中堅・ 大手企業を中心に約4,400会 員を有する。 業務フローの共通化・ノウハウ をグループ各社へ提供。	与信管理ASPサービスの アウトソーシング事業 NO.1企業
(連結子会社) リスモン・ビジネス・ ポータル(株) 	30	ビジネスポータルサイト (インターネットを利用した 各種情報提供サービス)	直接 95.00% (役員派遣3名)	中小企業を中心に約3,800会 員を有する。	多機能グループウェア ASPサービスを格安提供
(連結子会社) リスモン・マッスル・ データ(株) 	30	BPOサービス (マーケティング業務の効率化及び デジタルデータ化ソリューションに よるBPO事業)	直接 98.72% (役員派遣4名)	消費者向けビジネスを行う企 業を中心にサービスを提供。 グループの人材派遣・コストセ ンターも担う。	中国データエントリセン ターを活用した業務改革 アウトソーシングサービス
(孫会社) 日本アウトソース(株) 	30	BPOサービス (データエントリ、文書電子化 サービス、システム開発)	間接 100.00% (役員派遣4名)	大手金融機関を中心にサービ スを提供。	高い精度を誇るデータ入 力ノウハウ
(連結子会社) サイバックス(株) 	30	その他サービス (教育関連事業等を含む その他サービス)	直接 85.71% (役員派遣3名)	中堅・大手企業を中心に約 950のユーザーを有する。	約60種類のビジネス関連 のeラーニングを中心に人 材 開発・育成支援事業を 展開

- ・ 2000年 9月 会社設立
- ・ 2000年12月 サービス提供開始
- ・ 2001年 9月 大阪支社開設
- ・ 2005年 3月 大阪証券取引所「ヘラクレス」上場
- ・ 2005年12月 リスモン・マッスル・データ株式会社設立
- ・ 2007年11月 株式会社ジェービーピー(現リスモン・ビジネス・ポータル株式会社)を子会社化
- ・ 2009年 7月 東京・大手町2丁目に移転
- ・ 2010年 5月 サイバックス株式会社を子会社化
- ・ 2010年 9月 設立10周年
- ・ 2010年10月 大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)へ所属変更
- ・ 2011年 1月 日本アウトソース株式会社を孫会社化

- 11年3月末時点

順位	株主名	持株数	比率
1	株式会社東京商工リサーチ	3,255	8.35 %
2	株式会社ティーケーピー	3,056	7.84 %
3	NISグループ株式会社	2,500	6.41 %
4	和田 成史	1,782	4.57 %
5	リスクモンスター株式会社	1,414	—
6	大阪証券金融株式会社	1,259	3.23 %
7	株式会社エヌアイデイ	1,200	3.07 %
8	株式会社オービックビジネス コンサルタント	1,000	2.56 %
9	テクマトリックス株式会社	888	2.27 %
10	イーシステム株式会社	765	1.96 %

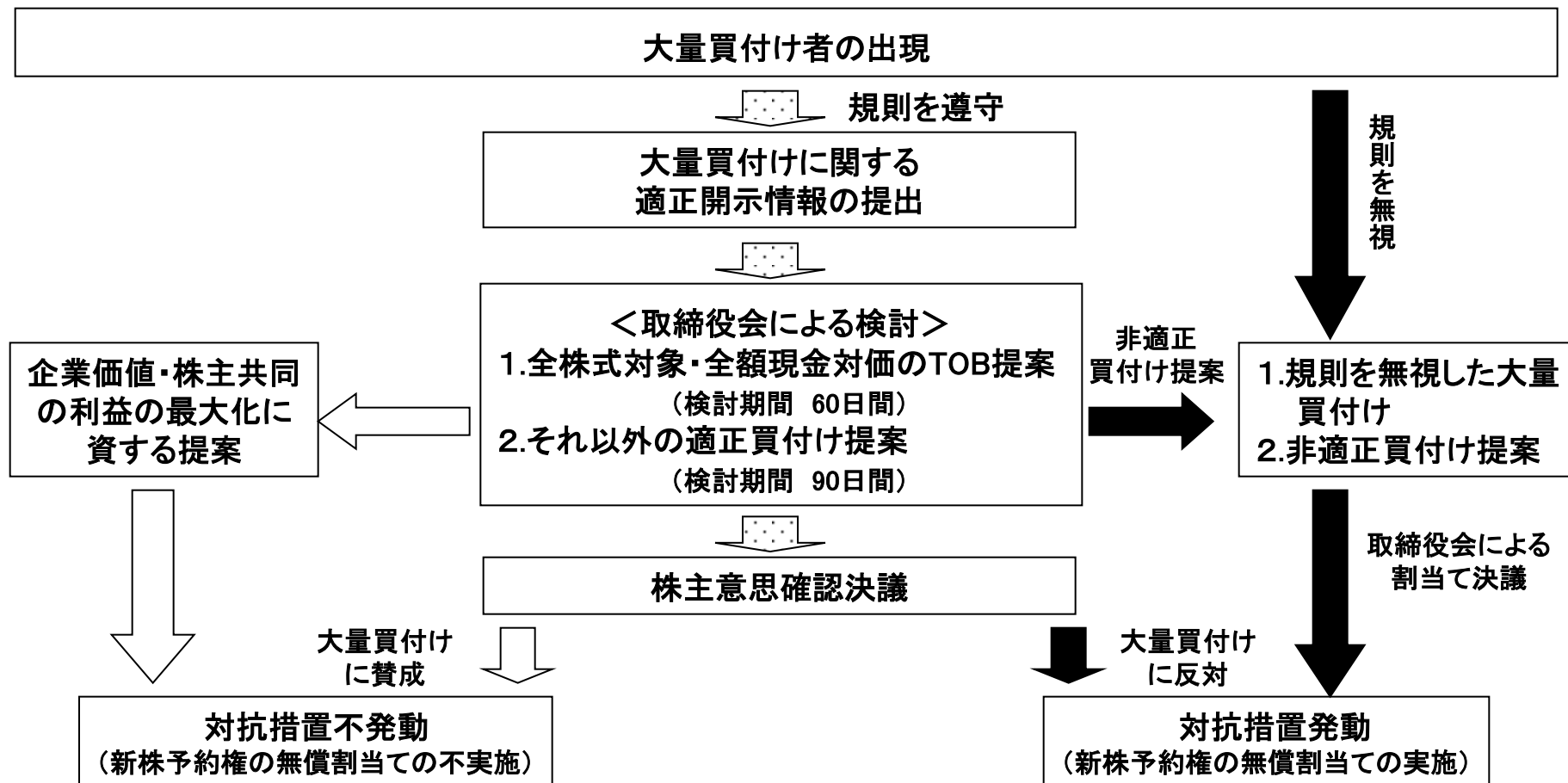


- 12年3月末時点

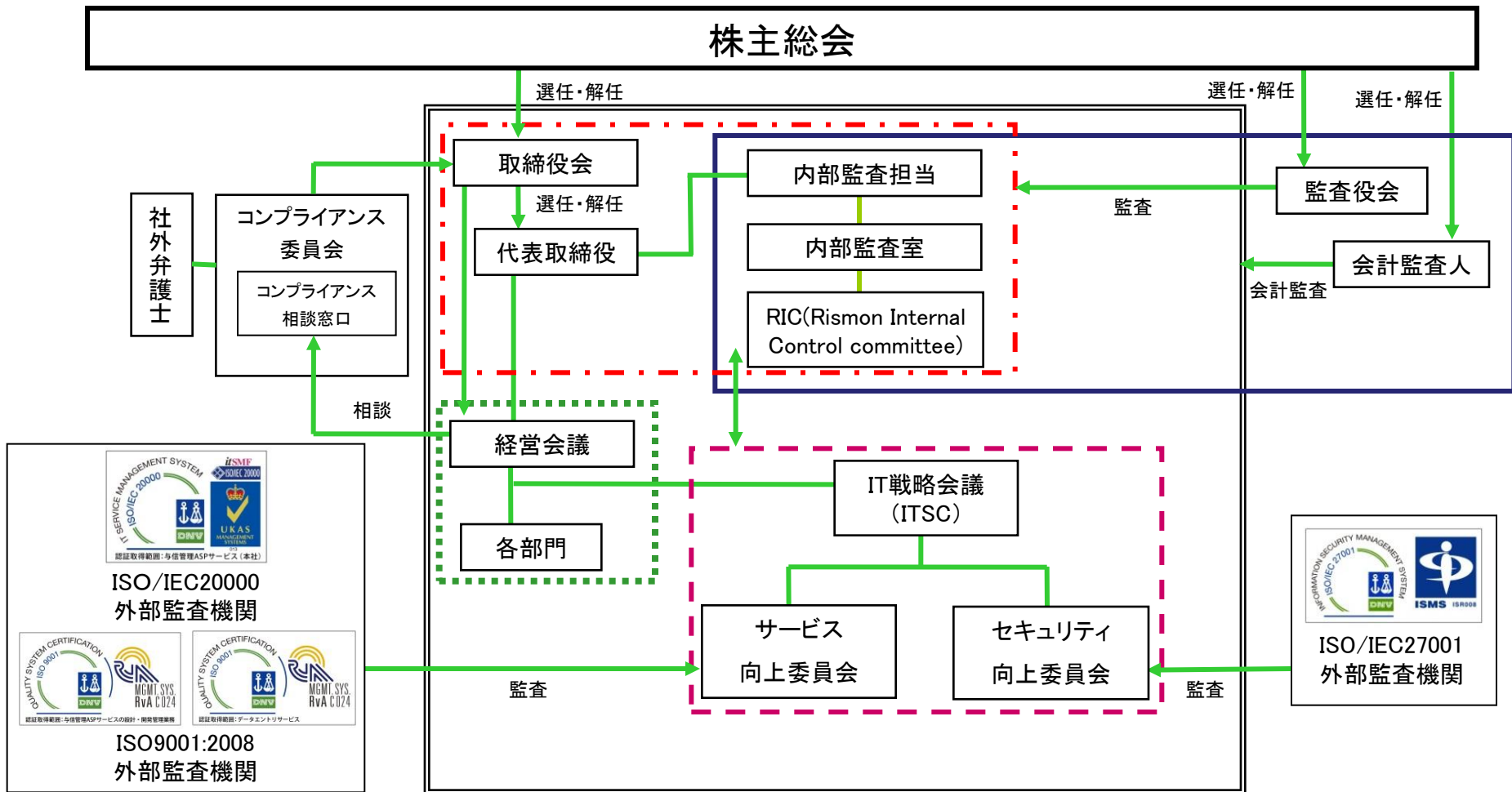
順位	株主名	持株数	比率
1	株式会社東京商工リサーチ	3,255	8.35 %
2	株式会社ティーケーピー	3,066	7.86 %
3	株式会社日本M&Aセンター	2,695	6.91 %
4	和田 成史	1,573	4.03 %
5	リスクモンスター株式会社	1,414	—
6	株式会社エヌアイデイ	1,200	3.07 %
7	株式会社オービックビジネス コンサルタント	1,000	2.56 %
8	テクマトリックス株式会社	888	2.27 %
9	日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	837	2.14 %
10	大阪証券金融株式会社	809	2.07 %

(注)持株比率は自己株式(1,414株)を控除して計算しております。

大量買付けと対抗措置の発動・不発動の決定の流れ



※有効期限 : 2011年6月24日から2年以内に終了する事業年度の定時株主総会終結の時まで。



(規格取得グループ企業)



2012年3月

品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001:2008」認証取得!!

・顧客の要望に合わせてカスタマイズが必要となるシステム受託開発サービスなどを提供しており、より一層高品質でお客様にご満足いただけるサービスを開発できるよう、今回「ISO9001:2008」の認証を取得。

【認証取得範囲】 リスクモンスター：与信管理ASP サービスの設計・開発管理業務

リスモン・マッスル・データ：データエントリーサービス

日本アウトソース：受託システムの設計・開発業務



2007年3月

情報セキュリティマネジメント (ISMS) の国際規格 「ISO/IEC27001:2005」認証取得!!

・2004年与信管理サービス業界で初めて、情報セキュリティマネジメントシステムの国際基準「BS7799-2:2002」及び国内規格「ISMS適合性評価制度」の認証を同時に取得。

・その後国際規格「ISO/IEC27001:2005」への移行審査を受け、2007年3月に取得。

・今後も高度なセキュリティレベルを保持していくことで、企業情報提供サービスという、社会インフラを提供する会社として、より一層の顧客満足度向上を図っていく。



2006年3月

ITサービスマネジメントシステム国際規格「ISO/IEC20000-1:2005」認証取得!!

・2005年2月に取得した「BS15000-1:2002」認証により、国際規格に適合したサービスの継続的な改善ができる仕組みを構築。

・その後2005年12月のISO化に伴い、国際標準規格「ISO/IEC20000-1:2005」の制度のもとで認証を新たに取得。

・提供サービスの品質維持と継続的改善の仕組みが、国際規格に基づくものであるということを認められたもの。今後もお客様により一層満足して頂けるよう、サービスレベルの向上を図っていく。



2004年12月プライバシーマーク取得 日本アウトソース株式会社

2005年10月プライバシーマーク取得 リスモン・ビジネス・ポータル株式会社



- ・ リスモングループサービスの信頼性を示す国際標準及び国内標準の規格に対応。

事業内容の補足説明①与信管理サービス

■約700社の日本を代表する上場企業に採用されている
デファクトスタンダードサービス。

2.与信意思決定ナビゲーション

RM格付	C	RM短期動向		商売形態	売買取引
業績傾向	減益	信用傾向	目立った変化なし	自社希望限度額	3,000千円
RM目標利益率 (継続取引〜スポット取引)	16.9725~18.8125%			>>自社RMリスク金額	687千円
				RM与信限度額	10,000千円
				>>RMリスク金額	2,291千円

※RM与信限度額およびRM目標利益率は、会社決算書のご提供が無い場合、正確な数値が算出されない場合もありますので、決算書をリスクモニスタまでご提供されることを推奨致します。

格付変遷グラフ	2005/01	2005/07	2006/01	2006/07	2006/10	2006/11	2006/12	現在
グラフ表示	A	A	A	B	B	B	C	C

3.業界会計値

業界会計値(金額は億円単位)		
	2005年	2004年
サンプル数	4,551社	5,282社
売上合計	504,891.60	518,897.40
利益合計	7,577.69	12,311.31
申告所得合計	22,216.43	25,230.22

RM格付	分布率
A	2.2%
B	9.9%
C	15.1%
D	24.1%
E	20.1%
F	28.7%

※クリックすると企業検索ページに切り替わります。

企業データ詳細

1/13/18 18:37

PDF作成 よくほりPDF作成

※と検索を確認していただけます。ボタンがない項目も同じ行の実際の項目のボタンを押すと検索もご覧いただけます。アラブです。直近の更新で変更があった項目に表示されます。

030000007	本社地図
リスモン通販(株)	東京 港区
リスモンウェブ	東京都港区
〒107-0001 東京都港区XX-YY-ZZ	
03-1711-5557 (+)	FAX
6,888,888千円	
1917年01月(14年)	創業(年数)
1917年(14年)	
東証一部	証券コード
EDINETコード	000010
工場	従業員
	2,900名

※に關する情報

2015年採用機器器具製造業

2009:主として管理事務を行う5年社等

船舶

船舶の製造販売

※に關する情報

VCC:物産、JAL商事、NHK放送、KTRP放送、GYO商事

業界平均支払期間: 310+月

与信管理運用表 (別添資料)

RMサービス運用別

STEP 1 与信判断A~Lの目安

A: 優良	B: 信用	C: 信用	D: 信用	E: 信用	F: 信用
F1: 信用	F2: 信用	F3: 信用	F4: 信用	F5: 信用	F6: 信用

1. 与信判断の目安は、あくまで目安であり、必ずしもこの通りに判断していただく必要はありません。

2. 与信判断の目安は、あくまで目安であり、必ずしもこの通りに判断していただく必要はありません。

3. 与信判断の目安は、あくまで目安であり、必ずしもこの通りに判断していただく必要はありません。

- 250万社の企業を9段階(A、B、C、D、E1、E2、F1、F2、F3)に格付。
- インターネットに繋がった端末(携帯電話も可)から、何時でも、どこからでも、与信判断を行うことが可能。

・「あなたの会社のe-審査部」 与信管理アウトソーシング事業 の実現へ一歩前進!

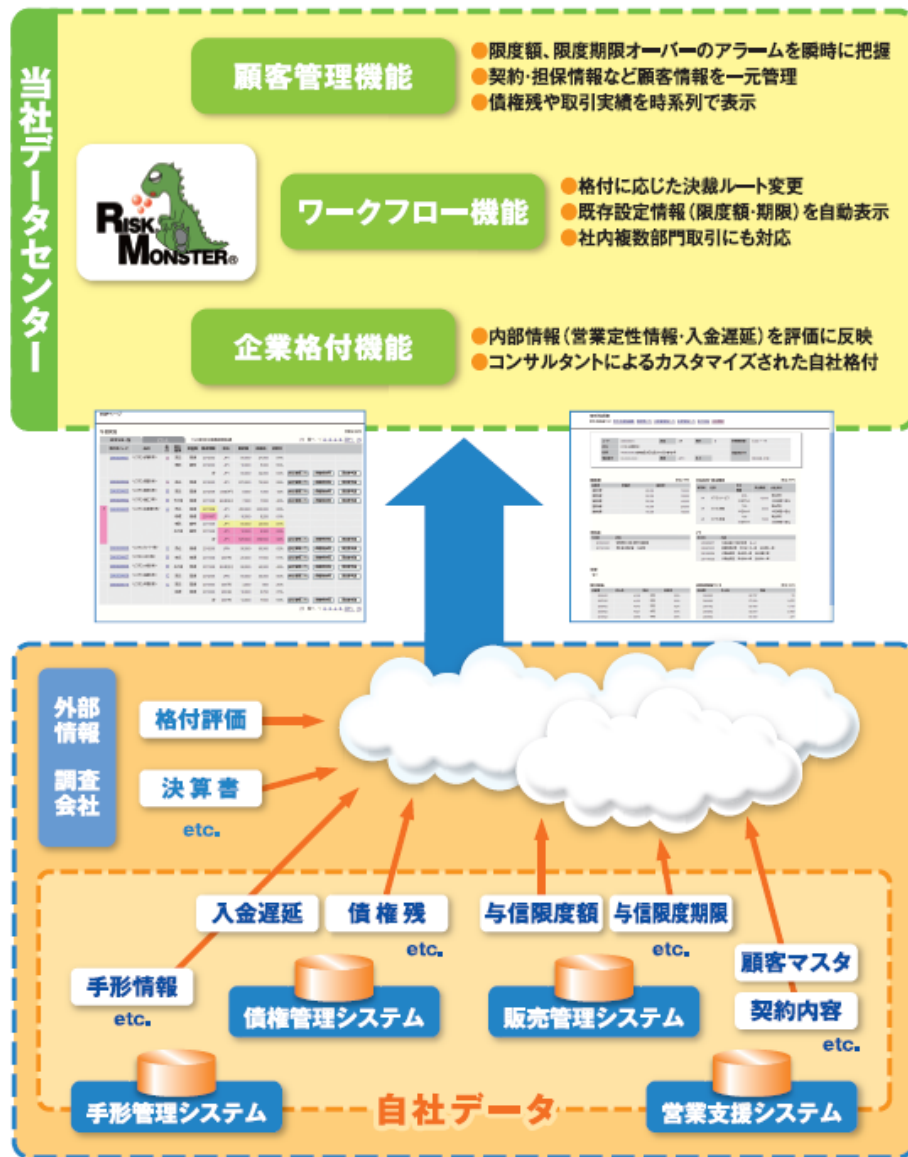
～カスタマイズ可能な与信管理サービス～

(2012年3月)

【本サービスで実現できること】

- ① 与信管理情報の統合管理
- ② 債権・限度額管理情報のオープン化
- ③ 自社格付システムの構築
- ④ ワークフローの効率化

本サービスを利用する企業は、リスモンの企業データベースおよび与信管理ノウハウを駆使した250万社の最新の格付情報を即時に照会できるだけでなく、自社の債権管理情報などの取引先情報も合わせて一元的に管理し、取引先管理業務に役立てることができます。



・ スマートフォン版「モバイルモンスター」が登場！ (2012年4月)

デザインや操作性をスマートフォンに最適化したサービスとしてリニューアルしました。

モバイルモンスターは、リスモンが提供している倒産確率に裏付けされた9段階の格付「RM格付」をスマートフォンで瞬時に確認することができ、営業担当者など外出が多いユーザー様にご活用いただけるサービス。

【機能】

① 与信企業検索

PC版「e-与信ナビ」と同様に、「RM格付」、「格付変遷(2年分)」、「RM与信限度額」などの与信判断指標を提供。また、本社所在地から地図アプリ等へリンクでき、現在地からのルート検索も可能。

② 攻めモン検索

指定の「エリア」、「業種」にて抽出した企業が表示され、企業一覧リストで閲覧できる他、対象の企業がマッピングされたマップデータを閲覧することが可能。また、GPSを使って、ご自身の周辺に所在地がある企業をリストアップすることも可能。



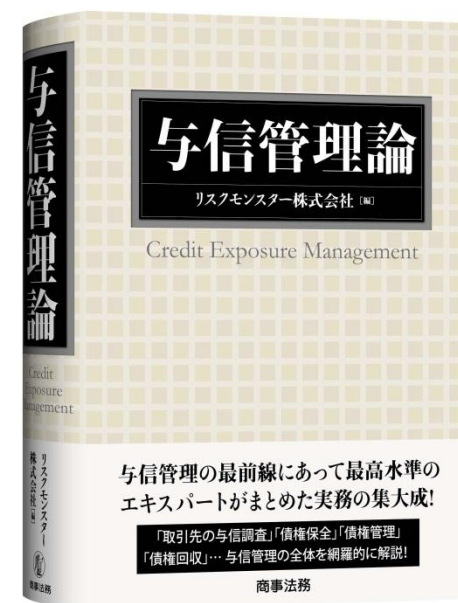
・ 創業以来のノウハウを集結した与信管理関連書籍の第3弾

創業から10余年にわたって育てて築いたノウハウの集大成として、2012年4月20日、書籍「与信管理論」を出版。

「与信管理」は、自社の与信量や取引先の企業情報を分析・評価して、取引先に対する与信額を調整し、債権回収における貸倒れリスクを管理するという、企業が存続するために必須の業務といえます。しかし一方で、与信管理業務の外延は広いため、担当者が体系的に理解しながら実務を習得するには、膨大な時間や経験を必要とすることが現状の課題となっています。本書は、その課題の解決を目的として、重要な各要素に分解したうえで、与信管理に関する考え方や実務手続、雛型を網羅的に解説しています。

■書籍概要

書名	: 与信管理論
執筆者	: リスクモンスター株式会社 データ工場／松田総合法律事務所／ 公認会計士・税理士 菅井会計事務所
編者	: リスクモンスター株式会社
判型	: A5判 ハードカバー
頁数	: 740 ページ
定価	: 7,980 円(税込)
発行	: 株式会社商事法務
出版日	: 2012年4月20日
章構成	: 第1章 与信管理の基礎／第2章 与信管理制度の構築と運用／ 第3章 信用情報の収集／第4章 定量・定性・商流分析／ 第5章 契約と担保／第6章 債権保全と債権回収



- 「もっと、安く」、「もっと、手軽に」、「もっと、簡単に」、
「もっと」を「モットー」に頑張る企業を応援し、日本を元気にするサービス。

The screenshot shows the J-MOTTO website interface. At the top, there's a navigation menu with links for Home, Company, Contact, Sitemap, and J-MOTTO Member Site. A search bar is integrated with Yahoo! Search. The main banner area features the J-MOTTO logo, contact information (0120-70-4515), and buttons for '資料請求(無料)' (Request for information - free) and '入会申込' (Apply for membership). Below this, there are tabs for 'J-MOTTOとは' (What is J-MOTTO), 'グループウェア' (Groupware), 'オプションサービス' (Optional services), 'ご利用料金' (Usage fees), '導入実績' (Introduction achievements), and 'FAQ・サポート' (FAQ/Support). The central content area is divided into sections: '利用企業数 4,000社' (Number of companies using: 4,000), 'おすすめ活用法' (Recommended usage), and '役立つオプションサービス' (Useful optional services). A prominent badge states '4,000社以上の導入実績' (4,000+ introduction achievements) and lists several client companies. A sidebar on the right contains a 'NEW' section with a list of recent news items and a 'USEFUL INFORMATION' section with links to FAQ and support.

- 約4,000社、13万人のビジネス・パーソンが毎日利用。
ビジネスに不可欠なインフラ・サービス。

● 中小企業向けクラウド型グループウェアに待望のスマートフォン版が登場

(2011年9月)

従来までも『J-MOTTO グループウェア』の標準機能として携帯電話、iPhoneなどモバイル端末にも対応していましたが、2011年9月のバージョンアップでは、iPhoneに限らずスマートフォン全般での利用、またタブレットPCでのブラウザ利用が可能になりました(16機能)。

スマートフォンやタブレットPCなど、多彩なデバイスの登場によりワークスタイルの変革が進む中、社外や出張先、在宅など、時間と場所を選ばないスマートなビジネス環境実現の牽引役となるグループウェアに進化していきます。



機能一覧

- スケジュール
- ToDo
- ウェブメール
- 伝言・所在
- タイムカード
- 設備予約
- ワークフロー
- 回覧・レポート
- 議事録
- インフォメーション
- アドレス帳
- 電子会議
- 文書管理
- 購買予約
- プロジェクト管理
- 仮払精算
- 備品管理
- アンケート
- メモパッド
- キャビネット
- 利用者名簿
- 安否確認

■中国の自社入力センターを活用したデータエントリーソリューション。

BPOサービスならリスモン・マッスル・データ

Rismon Muscle Data
リスモン・マッスル・データ株式会社
03-6214-0061 お問い合わせはこちら

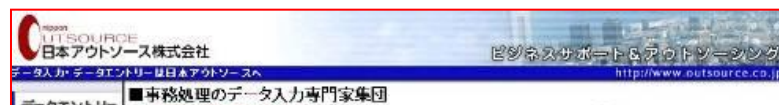
サービス案内 当社を選ぶ理由 取引実績 よくあるご質問 会社案内

業務代行はリスモン・マッスル・データ
お客さまがコア業務に集中できるよう、
非コア業務のアウトソーシングサービスを提供いたします。

BPOサービスならリスモン・マッスル・データ

 <p>データ入力代行 Data entry 低コスト・高セキュリティのデータ入力支援・代行サービス。</p>	 <p>スキャンニング Scanning 多様なスキャンニング技術による書類の電子化サービス。</p>
 <p>システム構築 System Development オーダーメイドシステムの構築・運用・保守サービス。</p>	 <p>印刷・封入・発送 Marketing support 発送物のワンストップサービス。小ロットから対応。</p>

グループ各社への人材派遣等、
グループのコストセンターの役割も担う



↑ 2011年1月 日本アウトソース(株)を孫会社化

- ▶ 中国データエントリーを実施するためのコントロール塔機能
- ▶ メガバンク、大手金融機関のデータエントリー業務を中心にあらゆる業界・業種の事務処理・業務処理



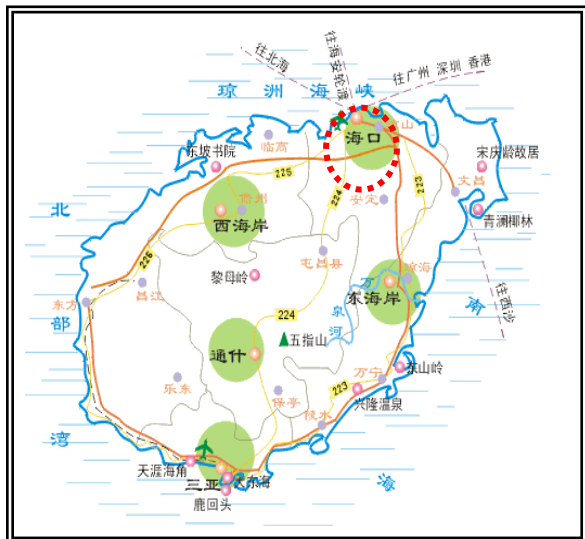
お茶の水
渋谷

海南

- ▶ 自社データ入力センター
- ▶ 納期などテクニカルな運用管理にも対応
- ▶ インターネットを用いた調査などのBPO業務も提供

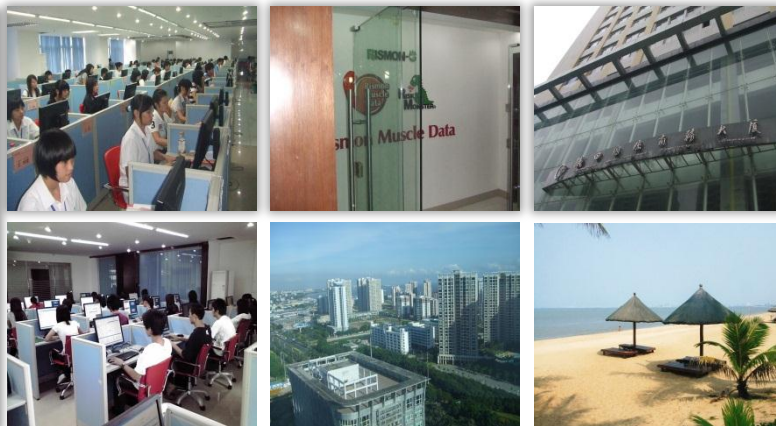
- 大量の情報・各種データを扱う『縁の下の力持ち！』。
- 金融機関をはじめとする高い精度が求められる業務に対応したデータ入力のノウハウ。
- 海外にも生産拠点を積極展開！

- 2011年8月、中国海南センター開設3周年 (2008年8月 中国海南島センター開設)



海南のメリット

- ◆環境が中国の他地区に比べ、抜群に良く、又人件費以外のコストも低く、中国内陸部並みの低コストが実現できます。
- ◆提携企業は海南省の学校と提携しており、長期的・継続的・安定的な堅実・誠実な人材が確保できます。
- ◆提携学校では日本語や入力パンチャー要請を継続的に実施しており安定した人材供給が可能です。
- ◆中国の他地区に比べ離職率・退職率が低く安定したセンター体制が組めます。(海南省での引き抜き・移動は殆どない)
- ◆光ファイバー・専用回線・VPNなど良好なネットワーク環境が整備されています。



■「Human Upgrading Company」を目指す。

2011年8月、集合研修とeラーニングを組み合わせた定額制のリーズナブルな「ラーニングモンスター研修パック」を提供開始。

- 中堅、大企業を中心に約950社が利用！
eラーニングを主業務とした人材開発・育成支援企業。

・定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」を販売開始 (2012年3月)

「サイバックスUniv.」は、次世代型受講管理システム・eラーニング・公開講座を低価格でご利用いただける定額制の社員研修サービスです。予算や時間・場所などの制約から、これまで最適な学習環境を整えることができなかった企業に対し、導入が容易なサービスを提供することで、社員教育の支援を行います。



サイバックスUNIV.



・サイバックスが人事部門のためのテーマ別研究会「CHOクラブ」をスタート (2012年5月)

人事の皆様にご関心の高い共通のテーマにおける他社との交流・情報交換・学びの場をご提供することで、幅広い見識の習得にお役立ていただき、ひいては各社人事部門の専門性の強化や組織の継続的発展に貢献することを狙いとし、2012年5月より、「CHOクラブ」として、基本1回2時間、月1回程度、4回連続を1セットとして、各専門分野の講師をお招きし1つのテーマを掘り下げていく研究会形式の講座を提供します。

●●● 人事から会社を元気にする ●●●

CHOクラブ

- 【 グローバル 】グローバル戦略に向けての組織・人事研究会
- 【 新卒採用 】2013年新卒採用、育成のポイント
- 【 職場変革・管理職育成 】人材育成の中長期戦略
- 【 メンタルヘルス 】生産性アップのためのメンタルヘルス体制の創り方
- 【 人事全般 】人事プロフェッショナル養成講座
- 【 IT資産管理 】管理部門のためのIT資産管理入門

・ リスモン義援金

2011年4月22日～2012年3月23日まで、リスモン会員の皆様が与信管理サービスを通じて「東日本大震災義援金」を贈ることができるプログラムを実施しました。会員様が当社サービス上にある募金のバナーをクリックすると当社が代わって利用金額の一部を日本赤十字社へ寄付するという仕組みです。



・ 東北六魂祭スマイルバスツアーへ参加

2011年7月16日(土)・17日(日)の2日間に開催された「東北六魂祭」へ協力会社のベネフィット・ワン様を通じて、シャトルバスの運行に協賛し、気仙沼市と仙台市の会場を結ぶ区間をリスモンバスが走りました。



・ 事業継続計画(BCP)検証および震災訓練を実施

2011年8月13日、首都圏直下型地震(マグニチュード8)が当日11時に発生したものと想定し、事業継続計画に基づきBCPの発動を行うというものです。訓練においては、社員の安否確認をはじめ、ASPサービスを遠隔地にて復旧を行うことを仮定した訓練を実施いたしました。

• 地元・町内会のクリーン活動参加

本社所在地の大手町丸の内町会で、定期的実施されるクリーン活動にも継続的に参加するなど、地域の環境美化に貢献しております。

• 神田祭の神輿(みこし)参加

毎年5月に開催される、日本三大祭のひとつの神田明神祭りに、地域貢献の一貫として経営陣を始めとした社員有志が、神輿(みこし)の担ぎ手として積極的に参加しています。また神田明神は大手町地区の企業の氏神様としても知られていますので当社では、創業以来の恒例行事として、年始の仕事始めに参拝を続けております。



• 「リスモン・グリーンプロジェクト」

2010年7月より「未来に緑を増やそう！リスモン・グリーンプロジェクト」を実施しています。本プロジェクトは2011年11月末時点で、11,210クリックしていただき、合計で69本の植林を実施いたしました。2011年12月、運営元の認定NPO法人環境リレーションズ研究所(理事長:鈴木敦子氏)よりこれまでの実績を評価いただき、感謝状をいただきました。



(2012年3月末時点)

商号：リスクモンスター株式会社
設立：2000年9月
代表者：代表取締役会長 兼 CEO 菅野 健一
代表取締役社長 兼 COO 藤本 太一
資本金：1,107,428千円
従業員数：89名(連結) 48名(単体)
株主：株式会社東京商工リサーチ
株式会社ティーケーピー
株式会社日本M&Aセンター
株式会社エヌアイデイ
株式会社オービックビジネスコンサルタント
テクマトリックス株式会社
ほか

主 事 業 内 容：与信管理サービス
ビジネスポータルサイト
BPOサービス
その他サービス(教育関連事業)

所 在 地：(本社)
東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル1F
(大阪支社)
大阪市中央区今橋2-5-8
トレードピア淀屋橋8F
(名古屋営業所)
名古屋市中村区名駅4-23-13
名古屋大同生命ビル12F

連 結 子 会 社：リスモン・ビジネス・ポータル株式会社
リスモン・マッスル・データ株式会社
日本アウトソース株式会社
サイバックス株式会社

株 式 市 場：大阪証券取引所 JASDAQスタンダード
証券コード 3768



<http://www.riskmonster.co.jp>

【IRに関するお問合せ窓口】

リスクモンスター株式会社 秘書・IRチーム IR担当

TEL: 03-6214-0352 (IR専用ダイヤル)

FAX: 03-6214-0366

Mail : ir@riskmonster.co.jp

【グループ会社ホームページ】



- ・ リスモン・ビジネス・ポータル株式会社
<http://www.j-motto.com>



- ・ リスモン・マッスル・データ株式会社
<http://www.rismon-md.co.jp>



- ・ 日本アウトソース株式会社
<http://www.outsource.co.jp>



- ・ サイバックス株式会社
<http://www.cybax.co.jp>